

宇宙基本計画の基本的な方向性について【概要】 ～ 宇宙発、日本の底力 ～ ＜実効性のある国際貢献と国民生活の質の向上＞

I. 宇宙基本計画の位置付け

- 宇宙開発戦略本部は、宇宙基本法（議員立法）に基づき、宇宙開発利用の推進に関する基本的な方針等について定めた宇宙基本計画を作成。
- 同計画については、今後10年程度を見通した5年計画とする。

II. 基本的な考え方

- ロケット・衛星の技術開発に力点の宇宙開発利用から、利用重視の政策に転換。
- 宇宙開発戦略本部を司令塔として、政府全体が一体となって施策を推進。
- 我が国として、「実効性のある国際貢献と国民生活の質の向上」を目指す。

III. 5つの基本的な方向性

1. 宇宙を活用した地上の豊かさ・安心・安全の実現

- 利用ニーズに継続的に対応できるよう施策を推進。
- 国民の豊かさ・安心・安全への貢献、地球環境変動の解明に向けた取組、新たなサービスの創出を推進。

2. 宇宙を活用した安全保障の強化

- 平和主義の理念にのっとり、専守防衛の範囲内において、安全保障分野における宇宙開発利用について検討。平成21年末までに防衛計画の大綱について所要の検討を行うことが見込まれていること等を念頭。
- 宇宙からの情報収集機能の拡充・強化に向けた取組を図る。

3. 宇宙外交の推進

- 宇宙開発利用分野の知見等を、アジア・太平洋地域、アフリカ、中南米地域等での外交ツールとして、ODA等の適切な活用も含め、戦略的かつ積極的に活用。

4. 21世紀の戦略的産業の育成

- 宇宙産業は宇宙政策の基盤。国際競争力を強化。
- トップセールスの実施。官民を挙げた国際市場の開拓。
- 機器のシリーズ化や小型化、宇宙輸送手段の維持・発展、インフラの整備等。
- 中小企業、大学等の技術も活かした技術基盤の強化。最先端技術の推進。

5. 人類の夢・次世代への投資

- 科学的発見へ挑戦する宇宙科学の推進。
- 国際宇宙ステーションにおける有人宇宙活動は、次世代を担う子供達に夢を与えるものとして推進。宇宙の魅力を伝える広報の充実。
- ロボット技術等の我が国の得意とする技術を活かした月・惑星探査や宇宙太陽光発電などの環境・エネルギー問題へ貢献するプロジェクト等の検討。
- 将来の有人宇宙活動の在り方についても、技術基盤の構築も含め検討。